

船舶事故等調査報告書

平成25年9月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013仙第28号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成25年6月6日 08時50分ごろ
発生場所	青森県八戸市八戸港内馬淵川河口 八戸港八太郎東防波堤灯台から真方位176°760m付近 (概位 北緯40°32.7′ 東経141°30.9′)
事故等調査の経過	平成25年6月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 貴鳳丸、497トン
船舶番号、船舶所有者等	135097、進宏海運株式会社
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	船底に擦過傷
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、鋼材約1,100tを積載し、船首約3.2m、船尾約4.4mの喫水により、揚げ荷のために八戸港に入航中、船長が、前方に錨泊中の作業船を認め、作業船を避けて航行しようとして本船に備えていた海図で付近の水深を確認し、約7m～8mの水深だったので、問題ないと思い、航行を続けたところ、平成25年6月6日08時50分ごろ馬淵川河口付近の浅瀬に乗り揚げた。</p> <p>船長は、本事故の発生を海上保安庁に通報し、本船は、タグボートによる引き出し作業で離礁した後、自力航行で八戸港八太郎N岸壁に着岸した。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北北東、風速 約3.3m/s、視程 約0.2海里以下</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の初期</p> <p>八戸市には、本事故当時、濃霧注意報が発表中であった。</p>
その他の事項	<p>本事故発生場所付近は、海上保安庁発行の水路通報で水深の減少が周知されていたものの、船長は、このことを把握していなかった。</p> <p>本船に備えていた八戸港の海図は、日本測地系のものであった。</p> <p>本船は、八戸港内を航行中、船長及び乗組員1人を船橋に、乗組員3人を船首にそれぞれ配置し、レーダー及びGPSプロッターを使用していた。なお、本船のレーダー及びGPSプロッターには、水深を確認できる機能がなく、本船には音響測深機がなかった。</p> <p>本事故発生場所付近の底質は、泥であった。</p>

<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし なし</p> <p>本船は、八戸港を航行中、船長が、本船に備えていた海図で水深を確認したが、水深が減少していることを掲載した水路通報を知らずに航行したことから、浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、八戸港を航行中、船長が、本船に備えていた海図で水深を確認したが、水深が減少していることを掲載した水路通報を知らずに航行したため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船舶には航行する海域の最新の海図を備えておくこと。 ・ 日本版海図は、日本測地系から世界測地系に移行したので、世界測地系のものを使用し、日本測地系のものを使用しないこと。